環境調査　宿毛湾32
令和8年11月10日
宿毛漁業指導所

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最大１細胞/mL、カレニア・パピリオナセアが最大１細胞/mL、**麻痺性貝毒の原因種とされるギムノディニウム・カテナータムが最大10細胞/mL** 確認されました。

柱状採水（0～10ｍの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が藻津で0.03細胞/mL、大島中央で0.09細胞/mL、小筑紫中央で0.01細胞/mL、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が大島中央で0.01細胞/mL確認されました。

ギムノディニウム・カテナータムおよびディノフィシス属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点（透明度/水深）【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度（m）	水温（℃）	塩分	溶存酸素（mg/L）	カレニア・パピリオナセア	シャットネラ属	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ギムノディニウム・カテナータム
A 藻津（9.3m/36.6m）【09:32】	0	22.9	33.9	6.5	0	1	0	0
	5	23.0	34.0	6.5	0	0	0	0
	★ 10	23.1	34.1	6.4	0	0	0	0
	15	23.3	34.2	6.1	-	-	-	-
	20	23.3	34.2	6.1	-	-	-	-
B 宇須々木（9.8m/26.6m）【09:24】	0	23.1	34.0	6.4	0	0	0	0
	5	23.1	34.1	6.5	0	1	0	0
	9	23.1	34.1	6.5	0	0	0	0
	★ 10	23.1	34.1	6.5	0	0	0	0
	15	23.2	34.1	6.3	-	-	-	-
	20	23.2	34.1	6.2	-	-	-	-
C 大島中央（12.1m/31.8m）【09:42】	★ 0	21.7	33.9	7.4	0	0	0	0
	2	23.0	33.9	6.0	0	0	0	0
	5	23.2	34.1	6.0	0	0	0	0
	10	23.5	34.3	6.5	0	0	0	0
	15	23.5	34.3	6.5	-	-	-	-
	20	23.5	34.3	6.5	-	-	-	-
D 小筑紫中央（10.5m/48.7m）【09:53】	★ 0	22.9	25.5	6.4	0	0	0	0
	5	23.2	34.3	6.0	0	1	0	0
	10	23.4	34.2	6.2	0	0	0	**10**
	15	23.5	34.3	6.3	-	-	-	-
	20	23.5	34.3	6.4	-	-	-	-
E 真珠（8.7m/31.7m）【09:12】	★ 0	22.5	34.1	7.9	0	0	0	0
	5	23.3	34.2	6.5	0	0	0	0
	10	23.5	34.2	5.8	0	0	0	0
	15	23.4	34.2	6.0	-	-	-	-
	20	23.5	34.3	5.9	-	-	-	-

環境調査　宿毛湾32

令和8年11月10日

宿毛漁業指導所

調査点 （透明度/水深） 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 （m）	水温 （℃）	塩分	溶存酸素 （mg/L）	カレニア・パピリオナセア	シャットネラ属	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ギムノディニウム・カテナータム
F シラハエ （8.8m/37.2m） 【10:06】	0	23.1	34.0	6.3	0	0	0	0
	★ 5	23.2	34.1	6.3	0	0	0	0
	10	23.5	34.2	6.0	0	0	0	0
	14	23.5	34.3	6.0	0	0	0	0
	15	23.5	34.3	6.0	-	-	-	-
	20	23.5	34.3	6.1	-	-	-	-
G 立石 （9.4m/23.5m） 【10:16】	0	22.8	33.8	6.5	0	0	0	0
	★ 5	23.5	34.2	5.9	0	0	0	0
	10	23.5	34.3	5.9	0	0	0	0
	15	23.6	34.3	6.2	-	-	-	-
	20	23.6	34.3	6.2	-	-	-	-
H 一切田 （8.2m/21.6m） 【10:40】	0	22.5	33.5	6.7	0	0	0	0
	★ 5	23.6	34.2	6.1	0	0	0	0
	10	23.5	34.3	6.0	0	0	0	0
	15	23.6	34.3	6.1	-	-	-	-
	20	23.6	34.3	5.9	-	-	-	-
I 栄喜奥 （8.6m/11m） 【10:24】	0	18.6	25.9	7.5	0	0	0	0
	★ 5	23.5	34.2	5.7	0	0	0	0
	10	23.5	34.3	5.6	0	0	0	0
J ヒロウラ （7.2m/24m） 【10:50】	0	21.1	32.4	6.5	0	0	0	0
	★ 5	23.5	34.2	5.9	1	0	0	0
	10	23.5	34.2	5.7	0	0	0	0
	15	23.4	34.2	5.6	-	-	-	-
	20	23.4	34.2	5.5	-	-	-	-
K 青瀬山 （7.3m/16.1m） 【10:32】	0	21.1	29.8	6.5	0	0	0	0
	5	23.7	34.2	6.7	0	0	0	0
	★ 7	23.6	34.2	6.2	0	0	0	0
	10	23.5	34.2	5.8	0	0	0	0
	15	23.5	34.3	5.6	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

環境調査　宿毛湾32

令和8年11月10日

宿毛漁業指導所

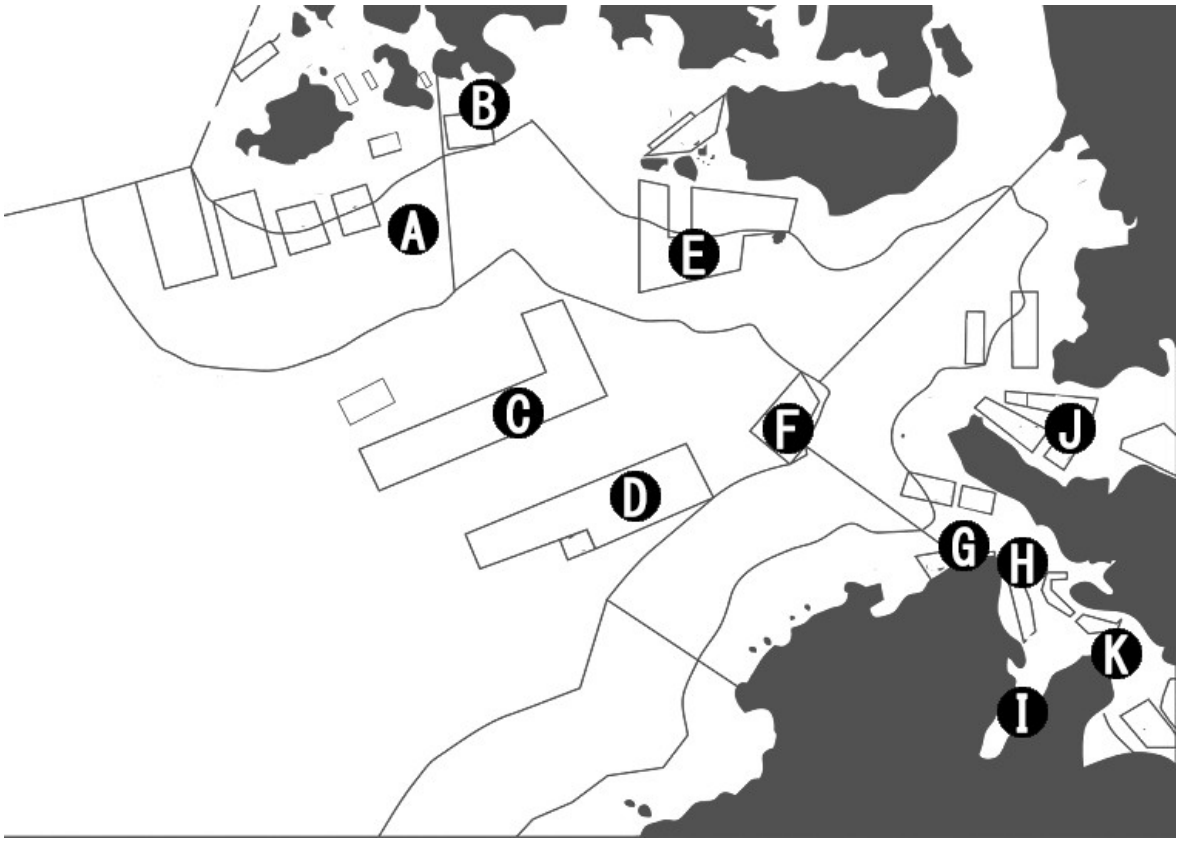
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期　※3
				宿毛湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	**100 cells/mL**	―
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	**100 cells/mL**	5～6月
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	―	**1 cell/mL**	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津　　E: 真珠　　I: 栄喜奥

B: 宇須々木　　F: シラハエ　　J: ヒロウラ

C: 大島中央　　G: 立石　　K: 青瀬山

D: 小筑紫中央　　H: 一切田

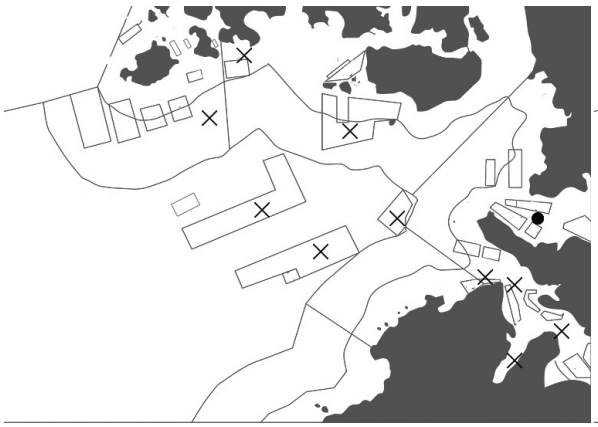
環境調査　宿毛湾32

令和8年11月10日

宿毛漁業指導所

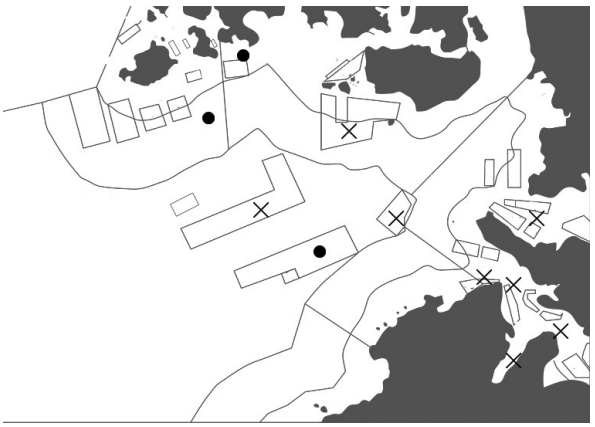
カレニア・パピリオナセア

最大細胞密度



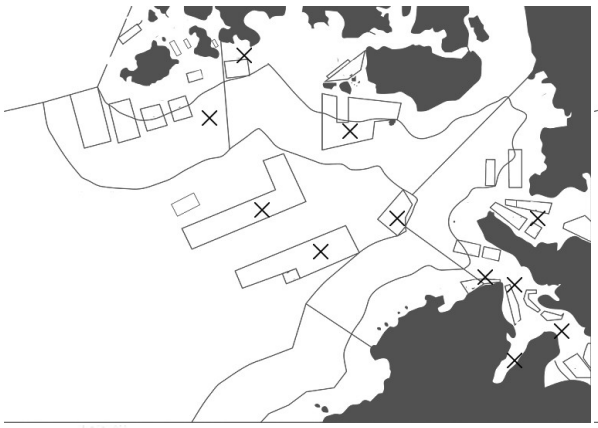
シャットネラ属

最大細胞密度



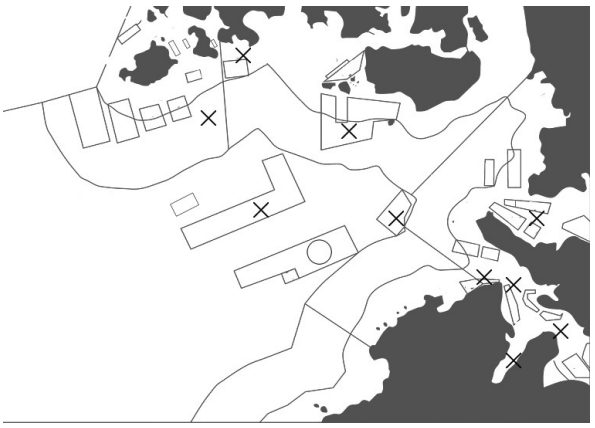
コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



ギムノディニウム・カテナータム

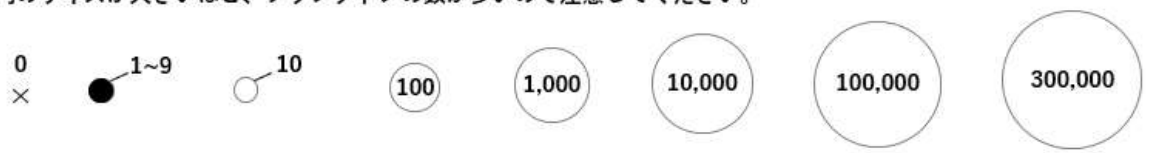
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上

警戒基準の値以上